

オオバコ科 クワガタソウ属

イヌノフグリ (犬の陰囊)

Veronica polita Fr. var. *lilacina* (T.Yamaz.) T.Yamaz.

の位置づけ

千葉県



環境省



市内の分布状況

市内の数か所に自生地があります。ただしいずれも数は少なく、除草作業などふとしたきっかけで姿を消してしまう恐れがあります。

自生環境保護のため 場所は非公開です



自生環境

道ばた、畑地、石垣 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



外来種のおオイヌノフグリが広がるとともに、激減しました。また人里周辺に生えるため、土地改変や除草の影響を受けやすく、イヌノフグリを取り巻く環境は厳しい状況です。

特徴

- ☆ 本州（関東以西）、四国、九州、南西諸島に分布し、路傍や民家の周辺、石垣のすき間、畑地など、身近な場所に生えます。越年草で、秋に発芽したあと越冬し、早春に開花・結実して一生を終えます。
- ☆ かつては珍しいものではなかったようですが、明治期に外来種のおオイヌノフグリが一気に広がると、それに押される形で激減、今ではすっかり絶滅危惧種になってしまいました。
- ☆ 花期は2～3月頃です。色は薄いピンクで、おオイヌノフグリに比べるとはるかに小さいためほとんど目立ちません。果実は球を横に2個つなげたようなかたちをしていて、これが雄犬の生殖器官（陰囊）を連想させることから名前がつけられました。

タチイヌとは共存

イヌノフグリと同じ仲間、野田市の路傍で最もよく見かけるのは、外来種のおオイヌノフグリとタチイヌノフグリです。イヌノフグリは、おオイヌノフグリに押されて激減してしまいました。ただ、同じ外来種でもタチイヌノフグリとは比較的仲が良いようです。市内の自生地でもイヌノフグリとタチイヌノフグリは一緒に生えていることが多く、どちらかが駆逐してしまうという感じではなさそうです。



花はまだ寒いうちから咲きはじめる



花はおオイヌノフグリよりも小さい



果実は球を横に2つ並べたようなかたち



葉のギザギザの数はおオイヌノフグリより少ない



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

